

—ST の卵さんから—

- 「人と人の距離を縮めるために、言葉はそれほど重要でなく、まずは勇気を持って、自分から最高の笑顔で笑いかけることが必要であると感じました。」
- 「言語聴覚士として臨床に出て、ある程度知識や経験を積んだあと、自分もこのような会を立ち上げたいと思いました。」
- 「大変貴重な経験どうもありがとうございました。実習から帰ったらクラスのお友達にお話して、このような活動があることを広めたいと思います。」
- 「笑顔・心・想像力。人としてどのようなスタンスで生きるのか、生きる喜びとは何かを深く身体で全身で実感することができました。」
- 「ST として回復期病院で看護・介助をひとまとめに提供する医療法人に就職の予定です。その地域にて内山先生や林先生、友の会の皆様の魂を岐阜・愛知の地で受け継いでいきたいと思います。」
- 「人間力。障害があっても考え方をどのように変えて前向きに生きていくか。時には時間を必要とする問題ですが、そのきっかけとして私共 ST が貢献できる可能性は無限大。ST の楽しみの幅を広げて頂ける体験となりました。」
- 「失語症の方は地域でも家庭でも孤立がちであることを知りました。コミュニケーションのスペシャリストとして失語症の方と地域、そして家族をつなぐ役目を果たせるようにならなければと思いました。」
- 「肩ひじ張らず、楽な姿勢で大声を出し、楽しむこと。難しく、大変な訓練も必要ですが、やっぱり基本的に楽しめるリハビリメニューを組めるようになりたいです。このような機会を与えて頂きありがとうございました。」